

〒975-0031

福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地

TEL:(0244)26-1315

FAX(0244)26-1318

E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

令和6年5月28日発行

令和5年度 家庭教育応援企業 活動報告②

第2号も相双域内の家庭教育応援企業様からの活動報告書からの内容を、紙面の許す限りお伝えいたします。

5 医療法人社団茶畑会 相馬中央病院 様



・インターンシップの実施

病院は異なる専門性を持った職種が、同じ目的に向けて協力して働いていることを知ってもらうと同時に、コミュニケーション能力や社会性を培ってもらいたいという思いから、医師を目指す学生を一か月間受入れています。参加した方からは「普通では経験出来ない事をたくさん学べて、終わってしまうのがさみしい！いつの日か、地域に貢献できる医師になりたい！」とうれしい感想をいただきました。

・「育児サポート休暇」の制定

子育てする職員は、子どもの体調不良や、学校行事、予防接種などで年次有給休暇を使いきってしまうケースが多いことから、「育児サポート休暇」を制定しました。これにより、未就学児を養育する職員については、育児を目的とする場合にかぎり、年次有給休暇とは別に、子ども1人の場合は年間5日、2人以上の場合は年間10日の特別有給休暇を取得することができるようになりました。

職員からは、「給与の心配をしないで子どもの休暇が取得できるようになり安心した」「会社が子育てを応援してくれるのは心強い」といった感想が寄せられています。

・新型コロナウイルス感染症対策の講演会の開催

地域の保育園の要請を受け、新型コロナウイルスに対する知識を深めることにより、安心して子どもたちを感染症から守るための講演会を開催しました。また、現場で働く保育士との意見交換会も開催しました。



・クリスマス会の開催



職員とそのお子様、お孫さん、患者さんを対象としたクリスマス会を開催しました。講師を迎え実施したクリスマスリース作りでは、おじいちゃんが子どもの細かい作業を手伝ったり、子どもたちのアイデアに大人が驚かされたりと、学びの多い時間になりました。また、昼食会では、栄養バランスを考えて作られたお弁当を食べながら、和気あいあいと楽しい時間を過ごすことができました。

・職場体験の実施

医療現場で働くことの意義や素晴らしさを、体験を通して感じてもらいました。



6 相馬共同火力発電株式会社 様



・環境学習教室

植栽を通じて、子どもたちに自然を身近に感じながら自然や水の大切さを学んでもらうことを目的として、未来を担う次世代層（小学校1年生）の子どもたちに、環境保全に関心を持ってもらうための支援活動として、6月の環境月間に合わせて「花の苗植栽体験」を実施しました。

・エネルギー・環境講座&新地発電所見学会の実施

発電所の仕組みや必要性、エネルギー・環境の大切さ等について、次世代を担う子供たちに理解してもらうことを目的に、小学校5・6年生と中学校1年生を対象とした「エネルギー・環境講座&新地発電所見学会」を開催しました。

・「相馬盆踊り大会」への参加協力

地元企業として地域の祭を大いに盛り上げるために、社員と関係会社、その家族で「相馬共同火力 ザ・盆ダンス」を結成し、長年参加を続けています。社員は、小さな子どもたちを含め家族で参加することにより、地域の伝統行事への参加を通じて、家族の絆を育むよう努めています。



・キャリア教育への協力

福島県立相馬高等学校、相馬市立中村第二中学校が進路学習として開催する「職業講話」や、相馬市立中村第二小学校からの依頼による「SDGs」講座へ、職員を講師として派遣し、子どもたちに対するキャリア教育を行いました。また、エネルギー環境講座を主催し、キャリア教育も実施しています。

・職場見学・職場体験の実施

「総合的な学習の時間」の一環として、各学校からの依頼により、職場体験を受け入れました。

- ・9月…新地町立尚英中学校2年生4名の受け入れ
- ・1月、2月…県立小高産業技術高等学校2年生4名の受け入れ



・わくわくランドイベントの実施

地域の方々に『ふれあいの場』を提供することを目的にイベントを開催しました。

- ・「オリジナルバッグをつくろう」60名参加
- ・「寄せ植え教室」40名参加
- ・「発電ワークショップ」78名参加
- ・「CAMP 飯を作ろう！」24名
- ・「わくわく感謝祭月間 part1 わくわく動物園」662名参加 等

相双ブロック会議から

昨年度末に「令和5年度第2回地域家庭教育推進相双ブロック会議」が開催されました。そこでは、子どもの未来を育む家庭教育3つの提言の中から「人や地域とのつながり」について議論しました。構成員の皆様からの意見をもとに、よりよい実践のためにはどんなことをしていけばよいのかについて方向性を提案しました。

くわしくは、相双教育事務所のHPをご覧ください。



家庭教育3つの提言-「人や地域とのつながり」実践について-
子どもの安全安心な育ちのためにつながりましょう。
※つながりとは、一緒に考えることです。ルールづくりは子どもと一緒に考えてみましょう。

子どもの未来を育む3つの提言

人や地域とのつながり

① 多様な子どもたちとつながる機会、場をつくる

② 多様な子どもたちとつながる機会、場をつくる

③ 多様な子どもたちとつながる機会、場をつくる

よりよい実践のために

子どもの安全安心を守るためには、関わる大人の安全安心、生活の安定、安全安心な地域が前提条件です。そういう人や地域とつながるために以下 のことを実践していきましょう。(この他の実践もOKです!)

- ◎ 子どもたちの登校を見守りましょう。(仕事をしながら、井戸端会議をしながらかけてOKです!)
- ◎ 学校に参画する地域の方々との協力体制を築いていきましょう。
- ◎ 子どもたちの知的好奇心をくすぐるようなコンテンツ(地域企業の参画等)を提供し、世帯を動かすような親子イベントを仕掛けていきましょう。
- ◎ 子ども・大人・保育士・教師・地域の方などが一堂に会する場をつくり、いろいろな考え方や行動の仕方を伝え、子どもたちの考え方を広げ深めていきましょう。

※ この他、学校・家庭・地域で取り組んでいることは引き続き続けていきましょう。

地域家庭教育推進相双ブロック会議